

# 聞く人の心に届くスピーチを

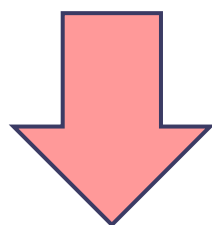
札幌市立円山小学校  
東 陽子

# 6年「今、わたしは、ぼくは」 光村図書

新しい教科書に変わったことで

「聞く人の心に届くように発表しよう」

・ 3月上旬 6時間



「話し方を工夫し、**資料を示して**スピーチ  
をしよう」

・ 2月下旬 6時間

- ①情報をしぼる。
- ②図表を効果的に使う。
- ③見せ方を考える。

# 指導目標

旧

- ◎12歳の今思うことを伝えるために、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。
  - 話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の体験や体験と比べるなどして感想をまとめることができる。
- 話・聞 (1)ア・イ・ウ・エ 、伝国(1)イ(キ)(ク)



新

- ◎今思うことを伝えるために、**必要な資料を準備し**、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。
  - 話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の体験や体験と比べるなどして感想をまとめることができる。
- 話・聞 (1)ア・イ・ウ・エ 、伝国(1)イ(キ)(ク)

# 学習の流れ

- ①構成を考えて、メモを書く。  
分類して、必要な物を選ぶ。
- ②手紙を書く。  
下書き→推敲(すいこう)→清書
- ③スピーチ練習(グループで)
- ④グループ代表決定
- ⑤クラス代表決定

クラス代表は、感謝の集いでスピーチ

# ①構成を考えてメモを書く。

思い付いたものを  
どんどん書く。ささ  
いなことでも良い。

具体的な  
エピソードを  
入れる。

印象に残っている  
言葉や自分の思いも  
簡単に書いておく。

お母さん  
お父さん  
ありがとう

運動会の日  
すきなおかずのお弁当  
とう  
⇒とてもうれしかった。  
朝はやくてたいん

なやんだ"とき  
そうだんにのって  
くれた。  
⇒うなづきながら  
すらすらときいてくれた。

これから  
まだ"めいわくをかけ  
るかもしれないけど"  
お父さんやお母さん  
をよるこは"せたい。

初め

おおきなこえで"  
おうえんしてくれた。  
⇒はずかしいけど"  
うれしい。

夏休みに  
リョ行に  
つれていってくれた。  
⇒まいとし"ど"かに  
つれていってくれる。

終わり

中

## ②手紙を書く。

### ☆文章の例を提示

下書き

- 既習を生かして文章を書く。

推敲

- 伝えたいことが詳しく書けているかも確かめる。

清書

- 感謝の気持ちが伝わるように、丁寧に書く。

### ③スピーチ練習

#### 話し方の確認

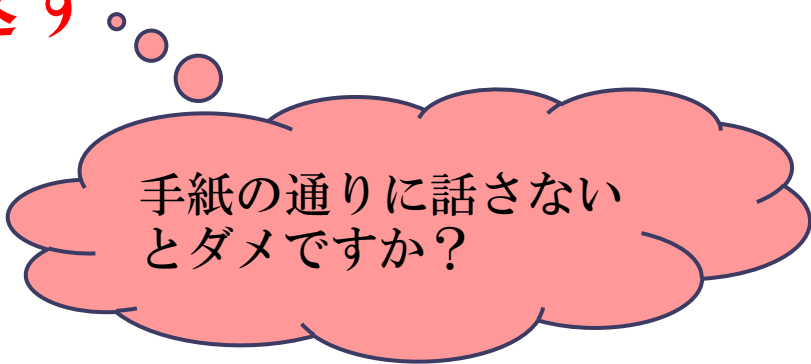
- 分かりやすい速さ
- 声の大きさ、強弱
- 姿勢、視線、表情
- 声の高さ、低さ
- 間の取り方

☆呼びかける

☆大事なことを繰り返す。



少し中身を変えてもいいですか？



手紙の通りに話さない  
とダメですか？

練習 ⇒ 原稿を見ない！



ビデオ撮りしたものは、テレビにつないですぐ確認。  
デジカメを各グループに渡して、動画を撮影し、その場で再生。  
⇒何に気を付けて練習すればいいのか、確認する。

## ④ グループ代表決定



話すのが得意な  
子ばかりが選ばれ  
たわけではなく...

## ⑤ クラス代表決定！！



【子どもたちが選んだ理由】  
内容がいい。  
しっかり前を見て話していた。  
強弱がついていた。

認め合い

【本人は...】  
グループ代表は、みんな上手  
だった。  
選ばれて嬉しい。

# 成果と課題

- 自分の話す姿を映像で確認したことで、何に気を付けて練習するかが明確になり、話し方が上達した。
- グループで練習を行ったことで、友達の良さを認めたり、アドバイスしたりする様子がたくさん見られた。
- それぞれのスピーチを、直接、保護者に聞いてもらう機会をもつことができなかった。

課題は残ったが...

話す側は、顔を上げて最後まで話すことができた。

聞く側は、相づちをうったり、最後に拍手をしたり、友達の思いを感じ取ることができた。

**卒業前に、自分の成長や友達の頑張りを認められる時間になった！**